芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。

記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。

「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報	
• 学部	理工学研究科
• 学科（コース等）	電気電子情報工学専攻
• 学年（渡航開始時）	１年

留学先情報				
• 渡航型/オンライン型	渡航型			
• プログラムタイプ	研究室配属型			
• 国・地域名	アメリカ合衆国			
• 都市名	ニュージャージー州 New Brunswick			
• 留学先大学名	Rutgers大学			
• 留学期間	半年~1年(2セメスター程度)			
• プログラム期間	プログラム開始時期（2021年9月上旬等）	2025年5月下旬	プログラム終了時期（2021年9月上旬等）	2026年3月上旬
• 留学時期（主に留学をしていた時期にチェックをお願いします）	修士1年前期~修士1年後期			
• 上記協定校を志願した理由を教えてください。	研究室の指導教員のコネクションが留学先の研究所にあったから。			
• （研究室配属型のみご回答ください）受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。（SIT指導教員の紹介等）	研究室の指導教員の紹介および推薦			

留学中の学籍について	
• 休学の有無	休学しなかった

• 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 （留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取り終えており、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等）	内部進学で大学院に進学しており、先取りで必要な単位を取得できたから。また、大学院の授業はオンラインのものが多く、留学先でも問題なく受講できたから。 研究に関しては、指導教員の同意のもと、留学先で進められたから。

留学先での学習・研究状況

• 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。	WINLABという無線通信の研究所で自身の研究をしていた。 研究内容は世界モデルを用いた通信の予測を可能とするモデルの確立であり、滞在先の教授と連携して進めていた。 プログラムなどを利用した留学ではなかったため、授業費は払っておらず、授業等には参加しなかった。

留学先での学習・研究以外の交流活動

• 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。	宇宙開発に関する部活動と、サイバーセキュリティに関する部活動に所属した。 また、日本の文化や日本語に関するサークルにも何度か参加した。 活動が始まるのは夜7時〜9時と遅く、ほとんどの学生が大学付近で暮らしているため、そのような時間帯に参加できる術がなければ難しい。 また、セメスターごとに活動が完全に分かれている。

自由記述欄

• 留学で感じたこと等、自由に記載してください。 （当初の留学計画を達成でいたか、新た発見はあったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。）	１年以上前から計画し、準備することをお勧めします。また、留学先は研究内容や立地も含めて検討した方がいいです。車がないと不便な場合もあります。 円安かつ物価高なので留学費用の支弁が大変でした。もらえる奨学金などは反対に減っているので、経済的にはかなり厳しいかと思います。私は日本の企業といくつかリモートで仕事をしてなんとか学資を調達していましたが、夜中に働いたりなど、留学よりも資金の確保の負担が大きくなり、当初の目的が果たせなくなるかもしれません。 アメリカは大統領が代わり、その政策の影響がここ１年とても大きかったです。また、アメリカ現地での就職はビザなどの理由で現実的にかなり厳しく、日本で就活する場合も夏冬インターンには参加できないのでそこは把握しておいた方がいいです。 また、医療システムが日本とはまったく異なり、医療費も高額なので、体調に自身がない方は注意してください。

留学手続き時に苦労した点

• 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。（提出すべき書類、準備が大変だった書類など）	指導教員の推薦で行ったので特に困ったことはなかったが、自身のやりたい研究ができるかは吟味したほうがいい。 また、留学先の地域によっては車がないと生活できないところもあるので、そこも注意したほうがいい。
• ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。（提出すべき書類、準備が大変だった書類など） （渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）	ビザの書類の準備や申請に関しては完全に自分でやらないといけなかったので、先方とのやりとりを含め、はじめは手順は必要なものがわからず大変だった。 それぞれの手続きに時間がかかるので、少なくとも半年前からは準備しないと間に合わない。

• その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。	銀行の海外送金やキャッシング、クレジットカードの海外利用など、日本にいるうちに手続きしないといけないものがあったので、それはやっておいたほうがいい。 また、円安で各手数や関税も高騰しているので、お金まわりや荷物の配送に関しても事前にしっかり調べておいたほうがいい。

滞在先の宿泊施設などの情報　（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

• 宿泊先のタイプを教えてください。 （協定校の寮、一般のｱﾊﾟｰﾄ、ﾎｰﾑｽﾃｲ等）	前半は大学の寮に滞在し、後半は一般家庭に滞在していた。
• 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？（出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等）	大学寮は到着した時がちょうど夏季休暇だったので、留学前に手配できた。しかし、大学が始まると、オフキャンパスの滞在先しか選択肢がなく、ネットの掲示板やSNSなどさまざま活用したが、まったく居住地が見つからなかった。最終的に、引越しの１週間前に寮のセキュリティさんに空き部屋を貸してもらうことになり、そこに滞在していた。
• 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか? 交通手段や所要時間を教えてください。	電車およびバス。２時間ほど
• 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。	キャンパス間はシャトルバスがあるので利用していた。研究所までは最寄りのバス停から３０分ほど歩いていた。後半は、家から大学までは大家さんの車に乗せてもらっていた。
• 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。	公共交通機関がないので、車がないと、買い物や移動が非常に不便であった。 また、プライベートルームやバスがあるかは生活の質を大きく変える。 基本的には誰かと共同生活になるので、ある程度気を使ったりなどのストレスはある。

留学中の費用や奨学金等　（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額（円換算概算）	概要
協定校へ支払った費用（授業料、初期登録費用等あれば）	¥100,000	ビザ申請手数料など
往復航空券代（往復）	¥300,000	行きはTransitで、帰りは早めに安い直行便を予約した
海外旅行保険・危機管理費用（全期間分）	¥800,000	旅行保険に加え、高額な生命保険への加入が必須
その他費用（ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等）	¥80,000	ビザの申請手数料と面接費用
計	¥1,280,000	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥160,000	寮は月1500ドル、後半は月1000ドル
食費/月	¥30,000	物価高かつ円安で日本よりコストは高い
その他/月	¥25,000	トイレットペーパーなどの紙製品が高額
計	¥215,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥120,000	米国留学での最高額
計	¥120,000	

写真共有のお願い　（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

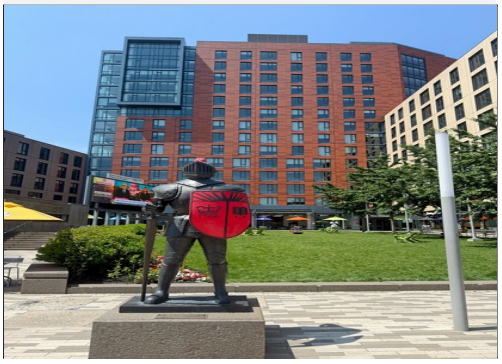
大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

滞在していた研究所です

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

はじめ泊まっていた大学寮です。ジムもあります。

その他、任意の写真



説明文

冬はブリザードですごい雪でした

その他、任意の写真

説明文

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。